



夢見ヶ崎動物公園魅力創出事業 (管理運営手法を含む)

目次



※NEW!! は、R5.2の意見交換会以降、変更・追加した
主な内容です。

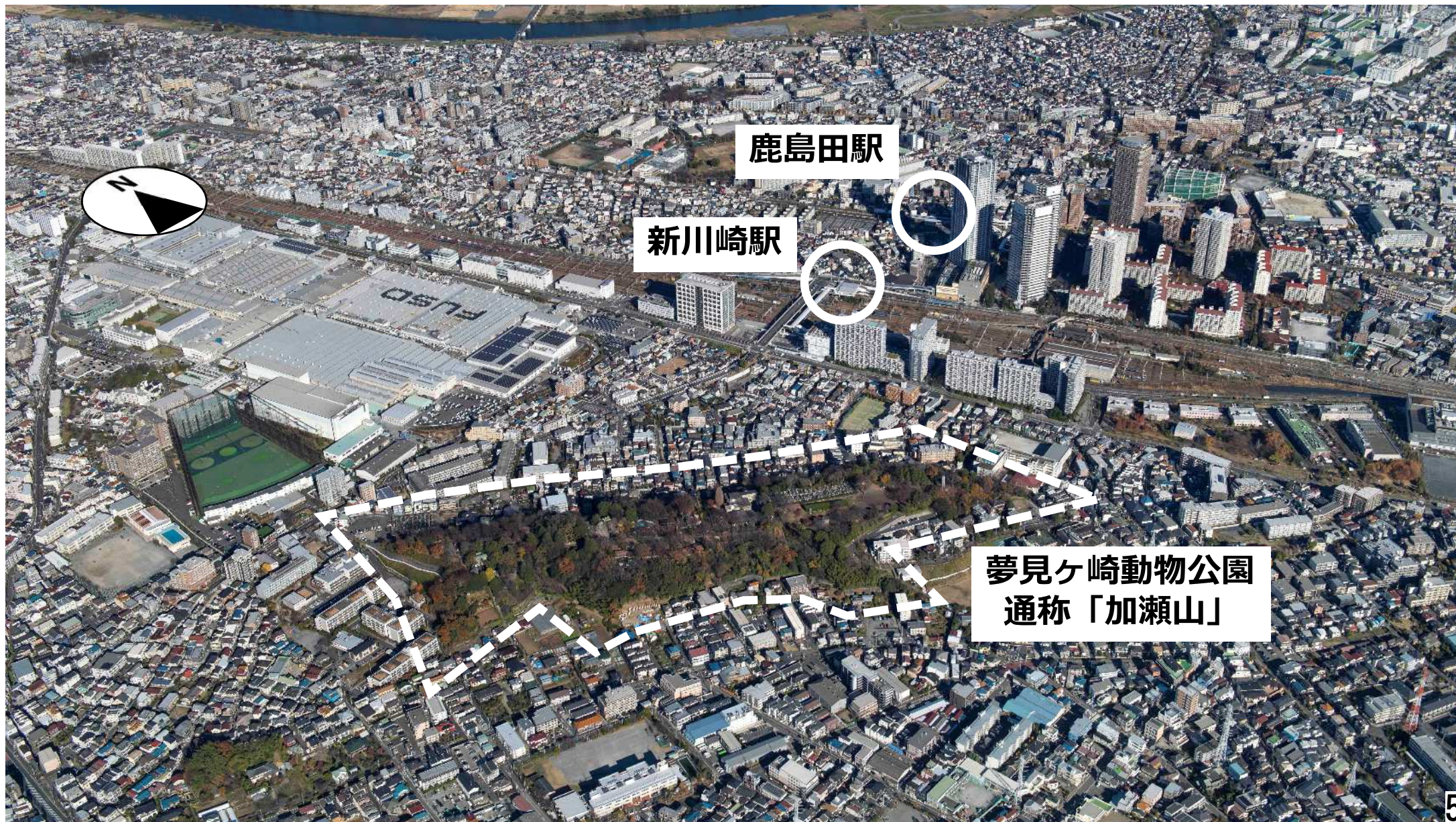
1.	夢見ヶ崎動物公園の立地	…	3
2.	夢見ヶ崎動物公園の概要	…	7
	NEW!! (パークセンター供用開始 …12)		
3.	夢見ヶ崎動物公園における取組	…	14
NEW!! 4.	夢見ヶ崎動物公園の再整備	…	17
NEW!! 5.	前回（R5.2）の意見交換会の結果概要	…	21
NEW!! 6.	ご意見・ご提案をお聴きしたい事項	…	22

1 夢見ヶ崎動物公園の立地





1 夢見ヶ崎動物公園の立地



1 夢見ヶ崎動物公園の立地



公園は標高35mの小高い丘にある



北西側から撮影



南西側から撮影

2 夢見ヶ崎動物公園の概要



来歴

- 昭和25（1950）年 夢見ヶ崎公園を開設
- 昭和47（1972）年 政令指定都市移行を記念し動物コーナーを設置
- 昭和49（1974）年 **「夢見ヶ崎動物公園」の名称を使用開始**
- 令和 6（2024）年 「夢見ヶ崎動物公園」設立50周年

公園種別

都市公園法に基づく地区公園

管理面積

約6.6ha

（動物園エリア約1.1ha、公園エリア約1.1ha、里山樹林エリア約4.4ha）

2 夢見ヶ崎動物公園の概要



飼育・展示動物（保護鳥獣を含む）

51種280点（令和6（2024）年9月現在）

動物一覧紹介：<https://www.city.kawasaki.jp/shisetsu/category/30-26-3-1-0-0-0-0-0-0.html>



来園者数

年間10～20万人 ▶ 春秋季多・夏季少 ▶ 休日多・平日少

入園料

動物園エリアを含む公園全域で無料

駐車場

25台収容、駐車料無料



2 夢見ヶ崎動物公園の概要



職員数

20名（園長、事務員、獣医、飼育員※） ※非常勤職員を含む

年間経費

約 1 億5,100万円

- ▶人件費：約 1 億円 ▶飼育診療費：約1,100万円
- ▶光熱水費：約2,700万円 ▶維持補修費：約700万円
- ▶事務費：約600万円

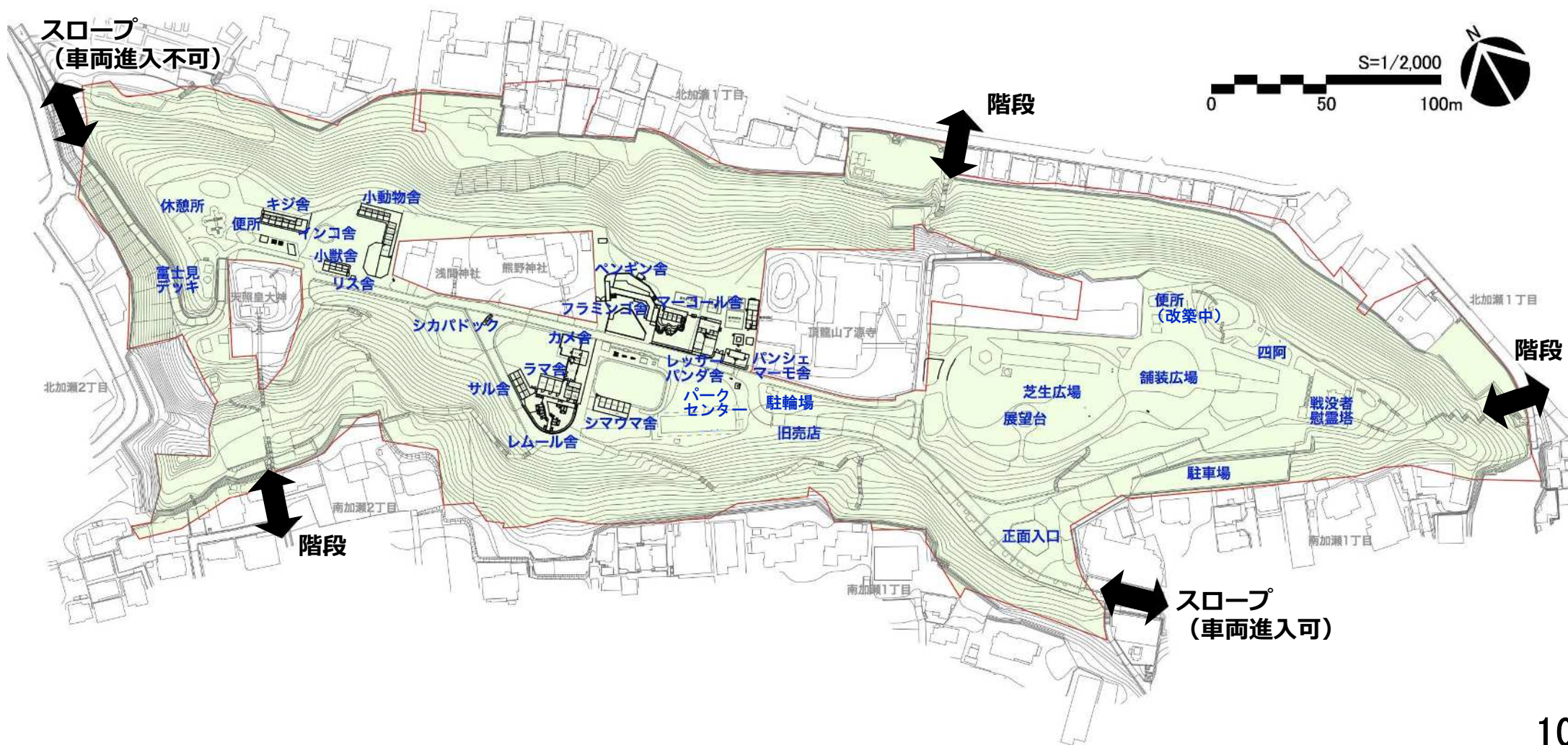
業務内容

- | | | |
|-------------|-------------|---------|
| ・展示動物の飼育、診療 | ・体験学習等の受入れ | ・イベント企画 |
| ・希少動物の繁殖 | ・施設、樹木等維持管理 | ・その他 |
| ・負傷野生鳥獣の保護 | ・市民協働業務の調整 | |

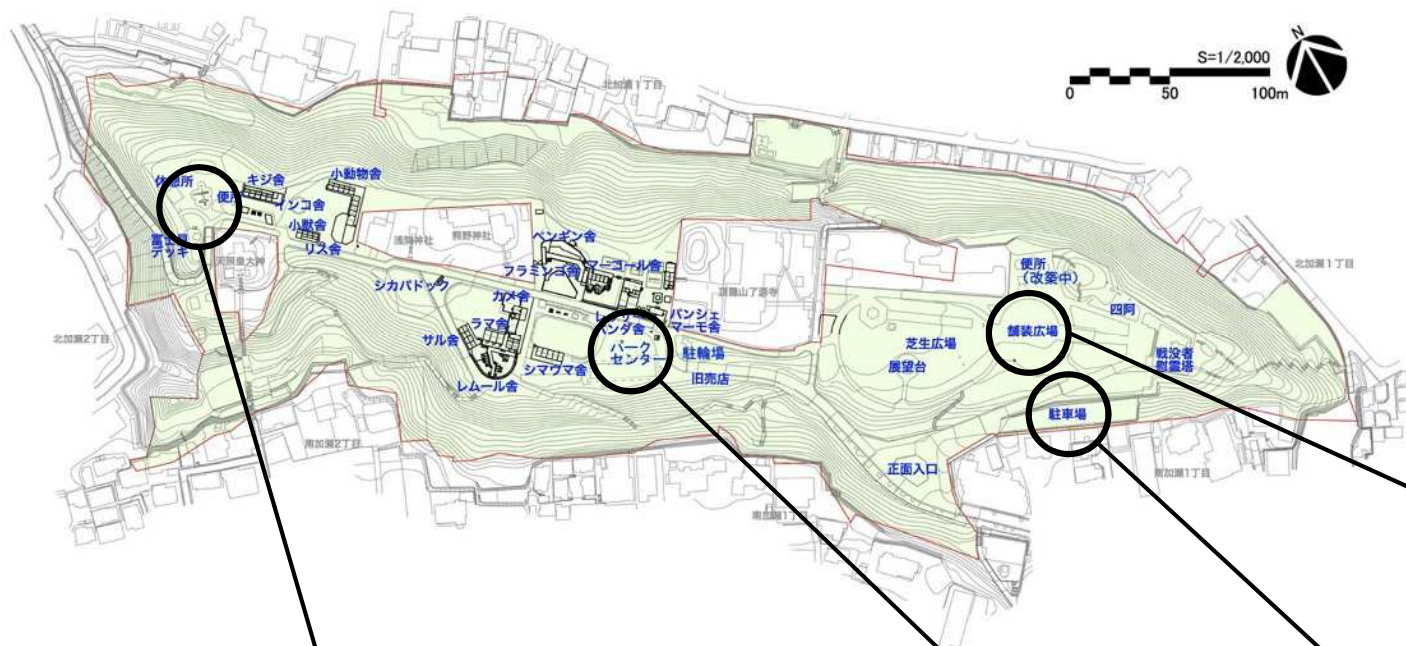
2 夢見ヶ崎動物公園の概要



夢見ヶ崎動物公園平面図



2 夢見ヶ崎動物公園の概要



多目的利用可、車両進入可の広場



広場に遊具・休憩所があり子供連れが多い



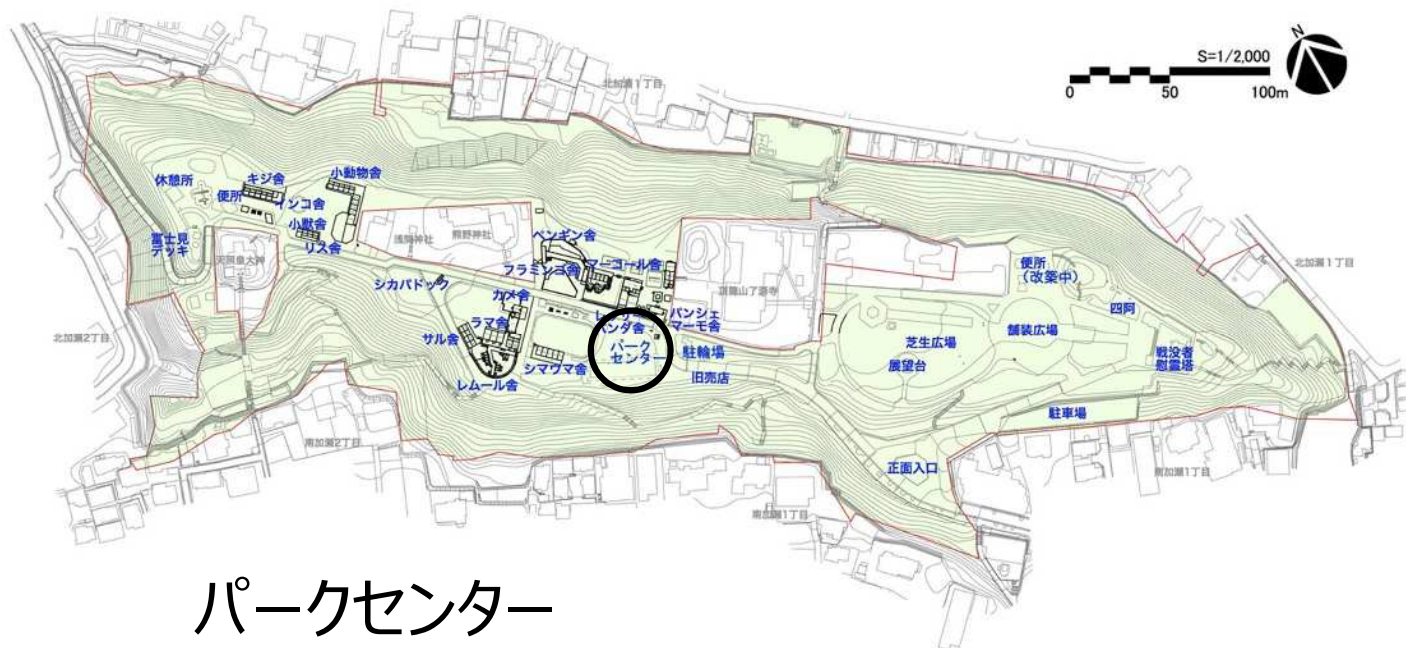
利便機能（トイレ・授乳室・多目的室等）
+ 事務所機能



普通車は下段、バスは斜路に駐車する



2 夢見ヶ崎動物公園の概要



パークセンター

令和6（2024）年10月6日供用開始

窓ガラスを活用した実物大動物フォトスポット



パーティションの開閉により
様々な用途に対応できる多目的室



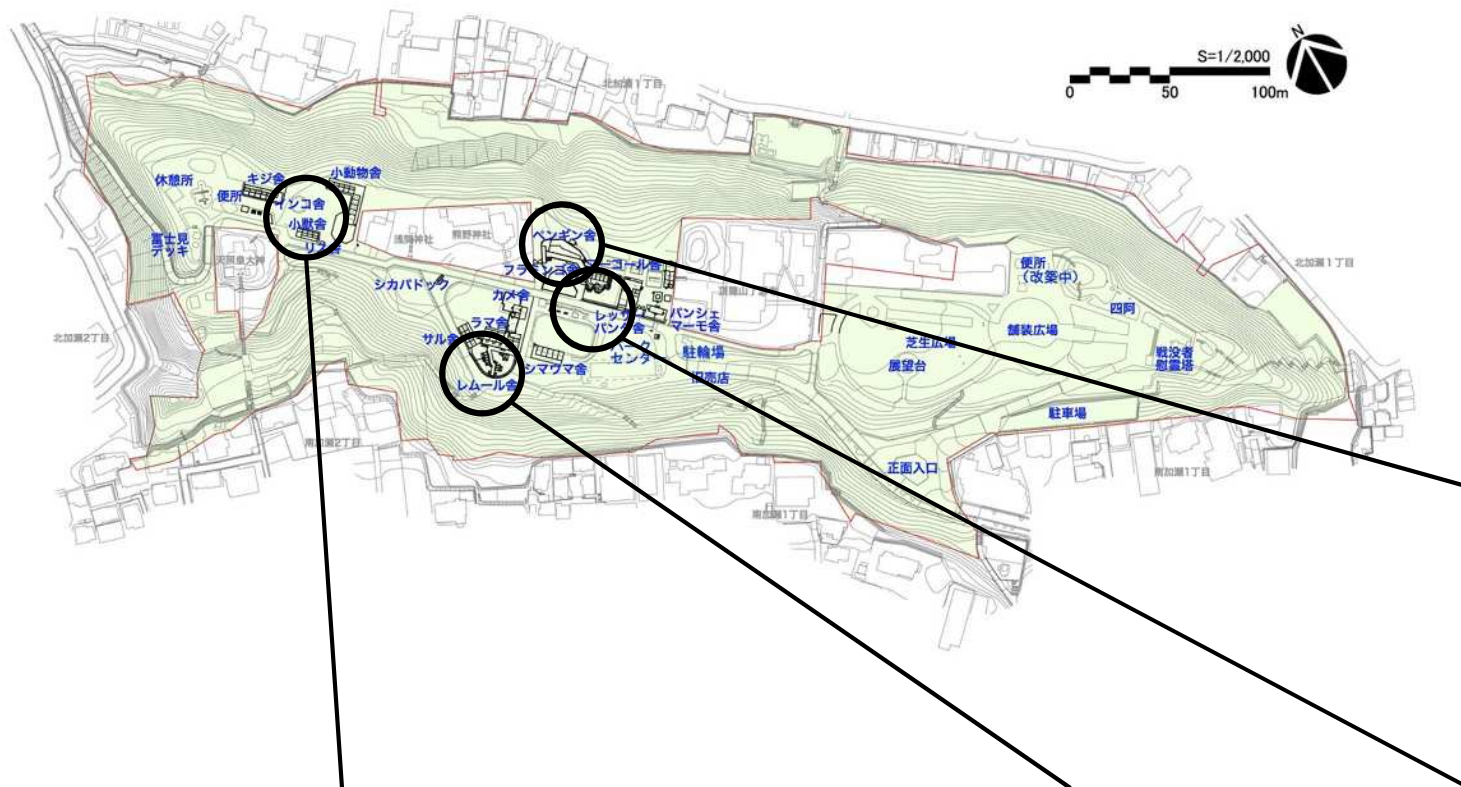
動物に関する展示物



休憩スペースと情報発信・学習コーナー



2 夢見ヶ崎動物公園の概要



ペンギン用の水槽があり、泳ぐ姿を観覧できる



ヤギ、小動物、鳥類等を観覧できる



サルがぶら下がる、よじ登る等の活発な動きを観覧できる



中央園路。寺社への車両通行路になっており、夜間閉鎖は不可能



3 夢見ヶ崎動物公園における取組



イベント・プログラム▶

公園の魅力を活用した「動物園まつり（春・秋）」

参加者各回5,000人程度

飼育現場の裏側を知る「飼育の日」

参加者各回3,000人程度

飼育を体験する「サマースクール」

参加者15人程度（小学5,6年生から公募）

お気に入りの動物へ「年賀状コンクール」

応募者例年50～100通程度



ゆめみらい交流会▶

動物公園・地域の関係者が、動物公園の魅力を高めるために語り合う場



3 夢見ヶ崎動物公園における取組



広報▶

X・Facebookにおいて動物の日常を発信

X▶https://x.com/yumemizoo_tw

Facebook▶<https://www.facebook.com/yumemigasakizoo>



情報誌「ゆめみにゅーす」を発行

<https://www.city.kawasaki.jp/shisetsu/category/30-26-6-0-0-0-0-0-0-0.html>



夢見ヶ崎動物公園サポーター▶

動物公園を支援いただく個人・団体等を広く募集

- **属性**：個人（学生・農家・イラストレーター他）、NPO法人、教育機関、商店街連合会、バス事業者等
- **支援内容**：イベント運営の手伝い、園内の植栽管理、傷病野生動物の保護の支援、動物の飼料購入や施設整備に関わる寄付等



3 夢見ヶ崎動物公園における取組



クラウドファンディング▶

動物の健康維持管理と安全確保のために動物用医療機器の充実をプロジェクト化して
寄付金を募ったところ、440人を超える
支援者から約600万円の支援あり

寄付金により▶
更新することが
できた医療機器



動物公園では、▶
動物展示だけではなく、野生傷病動物の保護も行っている



第2ゴール400万円達成✨
ご支援ありがとうございます！

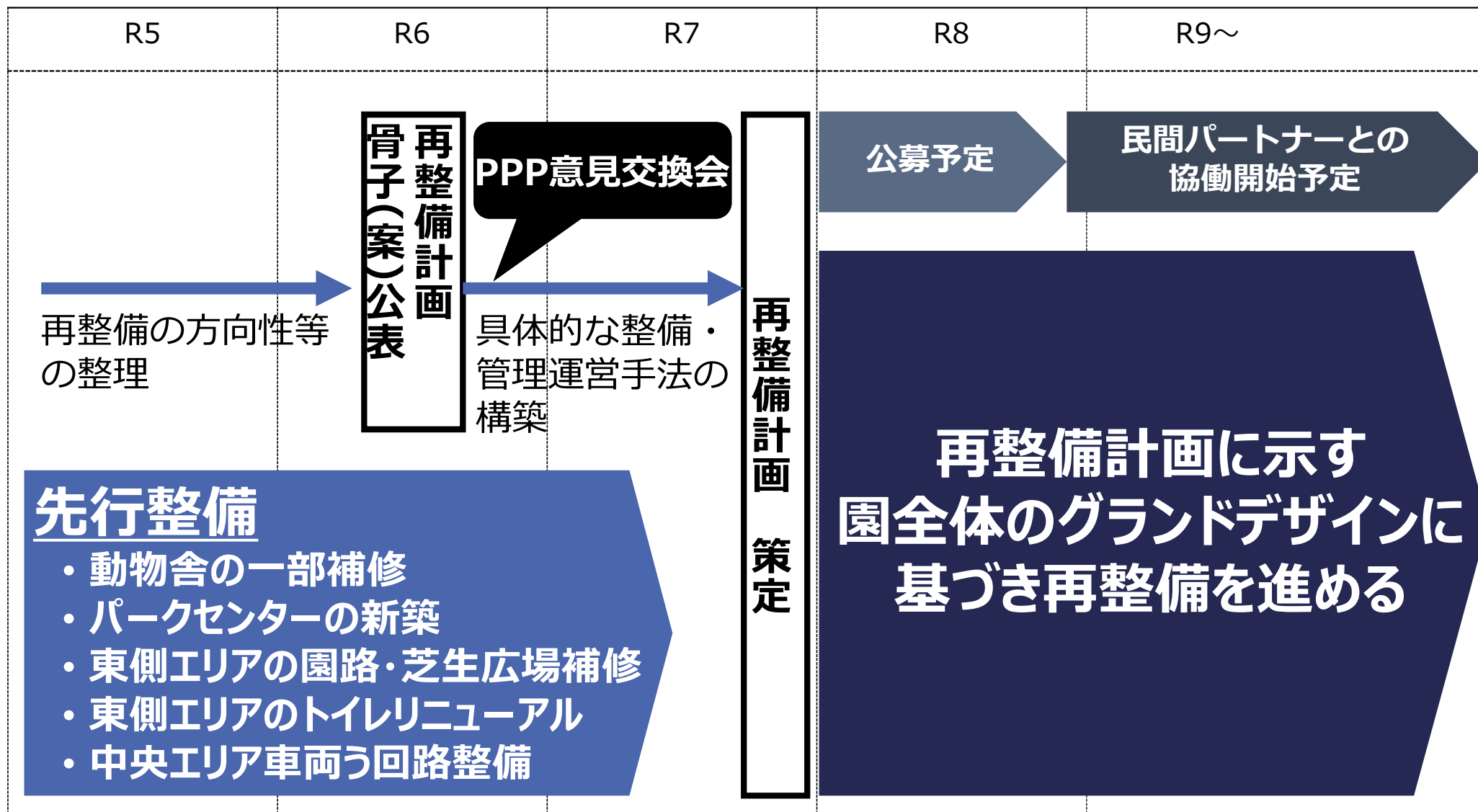


▲ 令和4年度に実施した際にお礼を掲載した
ホームページです（現在は終了しています）

4 夢見ヶ崎動物公園の再整備



今後のスケジュール

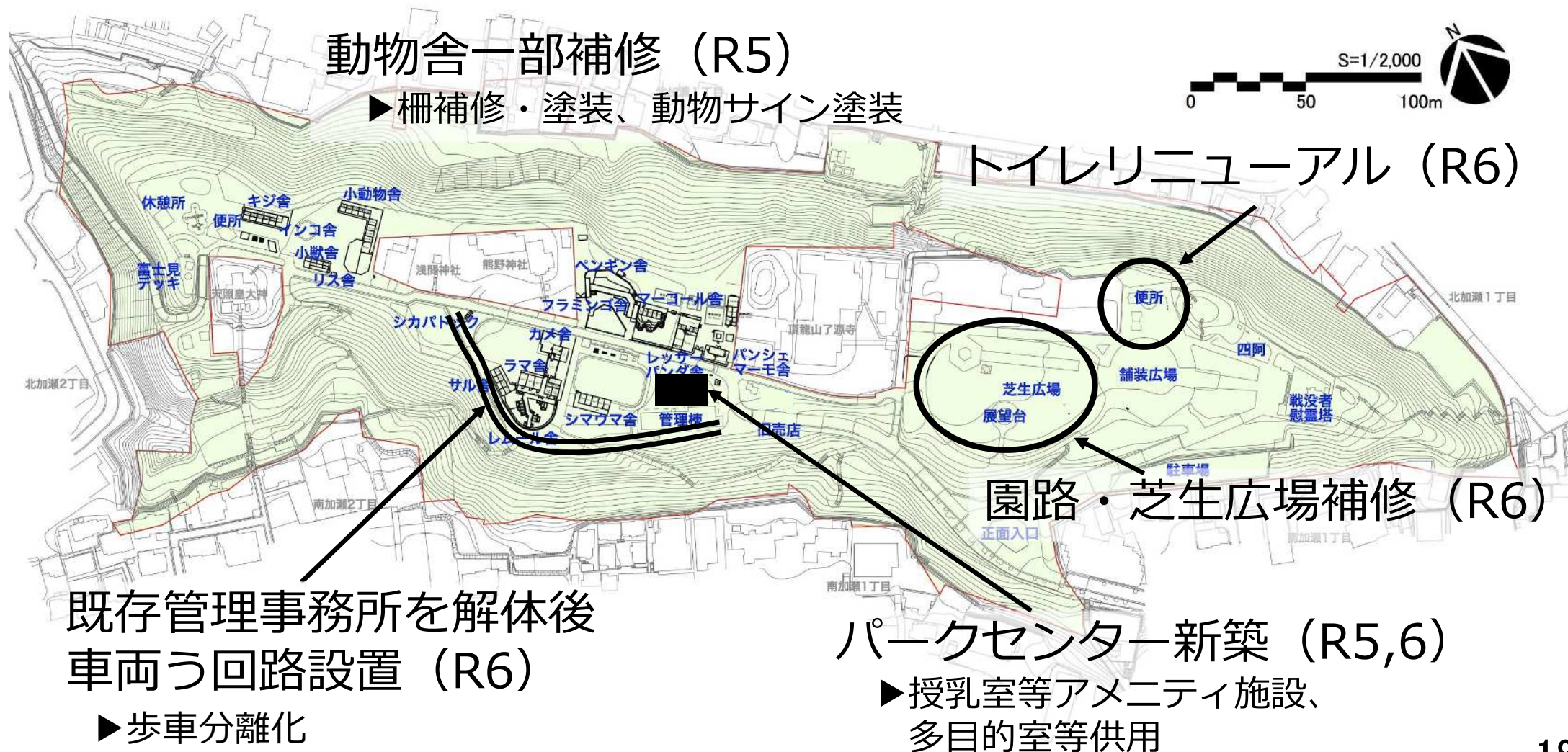


4 夢見ヶ崎動物公園の再整備



先行整備

▶ 来園者の利便性向上等に資する最低限必要な施設整備

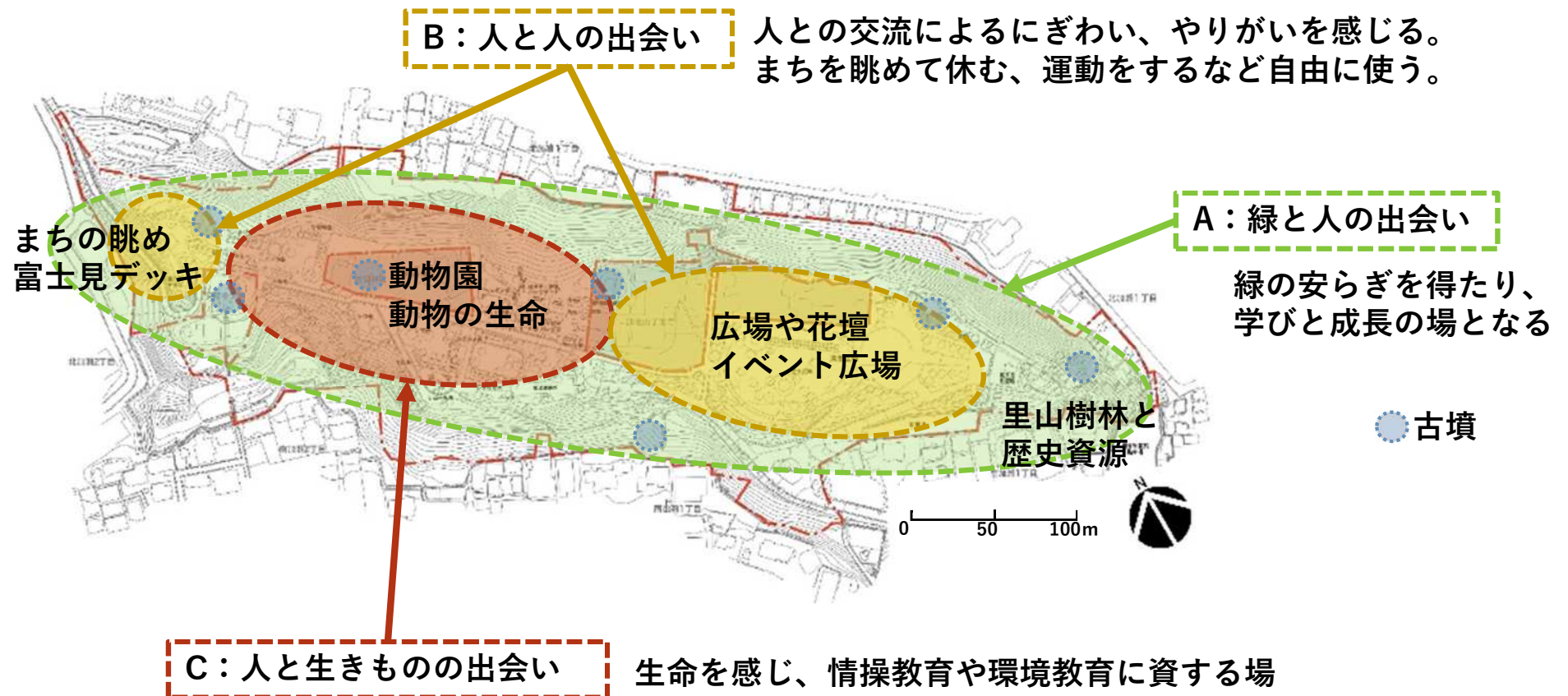


4 夢見ヶ崎動物公園の再整備



ゾーニング

▶ 動物園と公園の配置は現状通り集約型を基本とする。



4 夢見ヶ崎動物公園の再整備



再整備の方向性

- ▶ 老朽化等により低下した魅力の向上及び社会変容に伴う市民ニーズの変化等に応じた再整備

再整備で強化する取組軸

- ▶ “いのちを感じる”というテーマに貢献できる取組を推進する。

施設整備（ハード）の考え方

- ▶ 動物舎の補修・建て替えを行うとともに、生物多様性や環境教育に貢献できる新たな施設についても導入を検討する。
- ▶ 開園しながら段階的に動物舎の整備を進める。

管理運営（ソフト）の考え方

- ▶ 官民の役割分担を明確にし、「協働で共に育てていく」官民パートナーシップを目指す。
- ▶ クラウドファンディング等の官民連携手法も効果的に実施する。

5 前回（R 5． 2）の意見交換会の 結果概要



主な意見

- ① 動物を扱う業者が限られているので、入念なサウンディングにより指定管理者等の候補を探すことが必要ではないか。
- ② ネーミングライツで獣舎一つ一つに名前を冠すると、みんなで応援してますという雰囲気が出ていいのでは。地元の企業が関心を持つ場合もある。
- ③ 駐車場の設置許可制度を使用してほしい。また、設置許可期間は5年以上が望ましい。
- ④ 動物を見せるだけでなく、子どもの居場所をどうするか。さまざまな部署で連携していく必要がある。高齢福祉、教育との連携、不登校児の受入れなど。賑わいを作るという点ではこの考え方が重要ではないか。

⇒結果に関する本市の見解

持続可能な管理運営手法の構築に向け、次のページに記載した内容について、より詳細に民間事業者の意見を把握したい。

6 ご意見・ご提案をお聴きしたい事項



(1) 今回新たに確認したい事項

①施設整備の方法・手法

- ▶ アニマルウェルフェアと観覧環境の両立
- ▶ 動物舎に持たせるべき機能・新技術 ▶ 混合飼育の可能性

②管理運営の方法・手法

- ▶ 地域団体・企業・教育機関等と連携したプログラム

③運営費獲得の方法・手法

- ▶ 来園者等からの応援金 ▶ 参加費徴収が妥当なプログラム

④官民の役割・費用の分担

⑤参画可能性

(2) 前回の意見交換会を踏まえ、検討を深度化したい事項

②'管理運営の方法・手法

- ▶ 施設や駐車場の利用料金化の可能性 ▶ 管理水準向上のノウハウ
- ▶ 民間パートナーの業務範囲
(飼育業務、公園管理(全体または一部)、駐車場管理、広報 など)

③'運営費獲得の方法・手法

- ▶ クラウドファンディング、ネーミングライツ等の効果的な実施

⑥その他市に期待すること